~アレルギーっこ大集合~

第1回こどもアレルギー学会

さぁ♪みんな集まれ!! アレルギー症状を少しでも抑えて、快適な毎日を過ごせるように食物アレルギーやアトピー性皮膚炎のスキンケア(思春期のお肌のケア)、防災や緊急時対応など盛りだくさんのこどもから大人まで楽しく学べる機会を作りました! アレルギーのない方々も気軽に楽しみながら学べます。各展示ブースやミニ講座の聴講でポイントシールがもらえます! 学んで集めてもらっちゃおう!! 皆さまのご参加をお待ちしております!!





^{*}来場先着 50 組に 素敵なプレゼント!!

こども アレルギー 学会申込



https://forms.gle/ngVskTHPBFBG5jabA

対象:どなたでも参加可能(事前申し込みが必要)

定員:100組程度

申込締め切り:10月3日(火)

主催:大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」後援:大阪府、大阪狭山市、近畿大学病院アレルギーセンター、

公益財団法人日本アレルギー協会関西支部

10月(生)

9:30受付開始 15:30閉会 出入り自由

大阪狭山市文化会館 SAYAKA ホール 地下 1 階コンベンションホール

〒589-0005 大阪狭山市狭山 1 丁目 875-1 TEL:072-365-8700 南海高野線大阪狭山市駅 徒歩 5 分

内 20 分程度のミニ講座や展示ブースを回るとポイントがもらえます。 参加者全員(こども・大人)にポイント交換で粗品やお菓子がもらえます♪ ※粗品プレゼントはなくなり次第終了となります。ご了承ください。

お問い合わせ先:大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」 代表 田野成美 メール smile2525sayama@gmail.com

この活動は、公益財団法人ニッポンハム食 の未来財団の助成を受けています



~アレルギーっこ大集合~
第 1 回こどもアレルギー学会

"食べられるように治したい" "きれいな肌にしてあげたい"

~同じ目標を持ち続けて19年! 大きな交流の場、ひろがる!~

主催 大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」

会場 SAYAKA ホール 地下 1 階コンベンションホール

このイベントは、こどもが楽しみながら学び気づけることを目的に企画された。

会場には、アレルギー疾患治療を行っている家族、活動に協力している行政や 企業など多くの方々が参加され、交流の場がひろがり、いろいろな情報や出会い があり、本イベントには322名の方々が来場された。



治す"という目標に向かって!! 大阪狭山食物アレルギーアトピーサークル 「Smile • Smile」

- ◇設立:2004年8月(代表 田野 成美)
- ◇電話相談:2007年~ アレルギー相談(毎月1回)
- ◇2013 年 5 月~現在 大阪狭山市市民協働事業「スキンケア講習会」実施(2 か月に1回)
- ◇2017年~2020年3月 厚生労働省「外食等アレルゲン情報の提供の在り方検討会」委員
- ◇2021年3月 トータルアレルギープロジェクト設立
- ◇2022 年 8 月 小児アトピー性皮膚炎診療ガイドライン作成外部委員
- ◇2023 年 3 月~ AMED ゲノム PPI 班 PPI 委員
 - ※一部抜粋にて掲載

スタート9:50





主催者代表 田野さんとクリニクラウン(臨床道化師)のみなさんで参加者を案内!

令和5年10月7日(土)午前9時50分よりクリニクラウンの案内で、参加者のみなさんが会場内の席に着く。 これより、主催者の田野代表、来賓の古川市長のあいさつからスタート!



主催者•市長挨拶 10:05





主催者田野代表より、今日の「第1回こどもアレルギー学会」 開催を迎えることができたのは、多くの支援をいただいたみなさ まのおかげと感謝のことばがあった。

この「ことば」の中に、設立から19年、正しい情報や必要な治療にたどり着くのに長い時間と経験を要した思いがにじみ出ていた 挨拶であった。 古川市長より、主催者である大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」のこれまでの取り組んできた功績や会員を中心としたアレルギーに関係するネットワーク、ひとり1人の熱い思いが大きな力となっていることを称賛されたあいさつであった。



楽しく♪学んで!知ろう!ミニ講座コーナー 10:15~15:00



「12のミニ講座」紹介

- ① 知ってる?食物アレルギーの表示(大阪府食品表示グループ)
- ② 大阪府の食物アレルギーの事故を防ぐ取り組みをきいてみよう (大阪府保健・給食グループ)
- ③ 先輩ママの体験談(アレルギーっ子ママゆうこりん)
- ④ 知っておこうアレルギー・アナフィラキシー(ベルランド総合病院急病救急センター)
- ⑤ 救急車ってどうやって呼ぶの?シミュレーション(堺市大阪狭山消防署)
- ⑥ 地震の時はどうしたらいいかな?~防災レンジャーVS マグニチュー~ (大阪狭山防災レンジャー)



- ⑦ スキンケアをやってみょう (大阪狭山市健康推進グループ)
- ⑧ 思春期のオシャレとスキンケア(大阪南医療センター)
- ⑨ お兄ちゃんお姉ちゃんの体験談を聞いてみょう

(いろいろお友達)

- ⑩ 食物アレルギー先輩かわばた先生の体験談をきいてみよう
 - (近畿大学病院研修センター)
- ① エピペンシミュレーション
 - (近畿大学病院看護部小児アレルギー)
- ② 食物アレルギー○×クイズ みんな知っているかな?

(近畿大学病院小児科)

子どもから大人まで楽しみながらで学べる「12のミニ講座」が設定されている。時間は15分~20分程度。上記に掲載しているように、非常にバラエティーに富んだ企画である。オマケに「スタンプカード」が用意されており、ミニ講座や展示コーナーでシールをゲットすれば、駄菓子などと交換できる仕組み、よく考えているね!子ども・大人も大忙し!楽しく・学びやすいと講評であった。 食物アレルギーを中心に構成されており、疑問点があれば、関係者がいろいろアドバイス等を聞くことができる。心強い組織である。 食物アレルギーで悩んでいることがあれば、一度、大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」を覗いてみては如何でしょうか!

展示ブース 10:15~15:00





17の展示で、一スが設置され、大手食品会社や薬品会社、行政などがゲームや試食コーナー、紙芝居、プレゼントコーナー、体験コーナーなどを設け、子ども・大人も試食コーナーでドーナツ、米粉パン、若鶏のから揚げを試食、当然、食物アレルギーの学会であることから、アレルゲンがほぼ入っていないものを用意しているそうです。ご安心を!

参加者の声

東京から参加したという方にお話を聞きました。

「食物アレルギーで一番の課題は何でしょうか」"大阪狭山のようなネットワークができていないことですね"

行政や企業、医療関係者などまだ十分に取り組みができていないので、子どもから大人までアレルギー患者が増加傾向にあるとのことです。治療期間も長いことも辛いとの声がありました。

大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」のような市民団体が存在していることは、"うらやましい"との声。改めて、「スマイル」存在が大きいことを知ることができた。

スポット紹介





昨年、看護師、保育士、防災士などで団体を立ち上げた「大阪狭山防 災レンジャー」を紹介します。

専門的な知識をもつグループは学校、地域、イベント参加など幅広い防 災予防活動を積極的に進めています。

地域やグループなど防災の体験を計画されている方は、当防災レンジャーまでご連絡くださいとのことです。



イベントに参加して思うこと!



~アレルギーっこ大集合「第1回こどもアレルギー学会」参加して、まず、おどろいたのは、イベントの構成である。ミニ講座(12 講座)、 展示(17 ブース)、きめ細かい演しものであった。こども・大人も楽しめるように工夫をしている。

主催者である大阪狭山食物アレルギー・アトピーサークル「Smile・Smile」が全国派になっているのは承知していたが、参加してそのことが理解できた。

それは以下の通りである。

こどもが食物アレルギーと診断されたら、親としてまず専門医で診てもらい、指示通りに治療を続けるのは一般的である。しかし、主催者のみなさんは"治すためにはどうしたらいいのか"という思いで、いろんなところから情報を集めた。その情報は、食物アレルギーに関係するあらゆる場所に行き、情報交換や提案などを積極的に行動に移していった。また、メンバー間だけでなく、こどもがアレルギーで悩んでいる保護者などの相談に応じ、大阪狭山市内だけでなく、地方などに出向き、持てる情報などを提供しながら活動を広げていった。

正しい治療に行き着くことは、個人的には難しい。それを理解してもらうための工夫も積み重ねてきた。医師よりぬり薬を処方された場合、塗り方正しくすることで効果が違うことを確認する。(すごい情熱!)効果が出ることで、治療への意欲がわき、よりよい方向に改善する。こども・保護者も前向きに治療を進めることができた。

治ることを伝え、一人でも多くの人がアレルギー疾患の苦しみから抜け出して欲しいという思いを大切にしてサークル活動をしている。これが主催者の思いである。

この参加を通じて、全国派になる理由がわかりました。これからも、いつも明るい笑顔で多くの人をサポートしてください。 ありがとうございました。